

子育て環境日本一を目指すために

いま子育てに関わっている皆さんに聞いてみました。

私の提言

親子で遊べる場所に

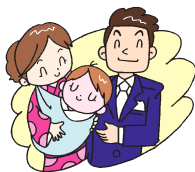
「おばあちゃん的な人」を

■仕事を通して垣間見える母親像

今のお母さん方を見ていると、自分の時間を取りながら「上手に子育てをしている」というのが第一印象です。沐浴もうまいし赤ちゃんも順調に育っています。子育てに協力的なご主人も多く、妊婦健診に付き添ってくる方も結構いるんですよ。

子育てはサロンのような支援センター、ファミリーサポートセンターなどもあり、昔より子育てしやすい環境が整っていると思います。お母さんが息抜きできる制度はどんどん利用して楽しく子育てできるように思いますね。そんなお母さんたちもよく話を聞いてみると結構不安も抱えているようです。人に聞くよりサイトで何でも調べ、情報に子どもが当てはまらないと不安になったり、また他の子どもと比べて不安になるな

ど。特に歩行、言葉、オムツ外しなど目に見えることはよけいに気になるみたいです。成長の度合いは一人一人違うので、情報や他の子と比べるのはあまり意味がありません。目安だけにし、自分の親の子育ての知恵も上手に取り入れて、お子さんを見守って欲しいですね。



■いつでも親子で気軽に遊べる場所を

決められた日だけでなく自由に、特に雨の日など発散させる場所として動ける広い場所があればいいと思います。そしてその場に子育て経験者（おばあちゃん的な人）がいて赤ちゃんをあやしたり、手遊びや昔ながらの遊びを教えたり、また子育て

のアドバイスなどが出来る方がいいのではないのでしょうか。児童館が利用出来る所もあると聞いています（産婦人科の看護師）

■児童館について調べてみました

児童館も併設した児童館が矢板、矢板東、片岡の三カ所。学童保育だけの所が安沢、泉、川崎小と民間で一カ所。他に地元のボランティアがみている小学校の学童保育が三カ所あるとのこと。児童館では決まった行事（母親クラブなど）をやる日もあります。基本自由に遊べる所です。（月曜休みのみで九時～十八時開いている）大いに利用するといいたいですね。ただ夏休みなどは児童館が多く利用するのでも、小さいお子さんはちょっと危ないかもしれないとのことでした。

岡目八目



矢板市特別顧問 企業誘致・政策担当 よしふみ

萩原良章さん(72歳)

東京生まれ。本田技研(株)購買部長を務めた後、(株)ネステック(現・日本電産エレス(株))を創業。同社定年退職後、宇都宮大学客員教授、複数企業の顧問などを歴任。宇都宮市在住。スキー、登山、囲碁など多彩な趣味。もっとも大事にしているのが人間“感”係(人と人がハートでつながること、これは世界中変わらないという)。

●矢板市の特別顧問 第一号

今年一月に就任しました。購買部門に

長くなり、多様な企業とお付き合いしてきたので、企業誘致に尽力できるのではないかとこのこと、民間で勉強したこと

を行政に生かせないかと期待されているのだと思っています。それを請われたことは名譽なこと、ありがたいです。

●企業誘致を進める上での矢板の優位性は？

活性化を考えたとき、仕事を増やし、お金を上手く回すという意味で、企業誘致は即効性があります。グローバル化のなかで、国内の地方に進出しようという

企業は少なく、今までのやり方ではなかなか難しいと思います。購入部門ではありません。これからは、一般論ではなく、一企業一企業に合わせたPRをしていくことです。首都圏に近く、道路網があり、東北の入り口でもあるという矢板市のロケーションの良さを、進出してくれそうな企業を見つけ、ダイレクトにアピールし実績につなげていくことです。

●企業誘致戦略会議のなかで、そのめどをどう付けていくか、地元有力企業の社長さんと一緒に具体的に考えていきます。

●矢板の良さは？

まず、市職員の対応が親切で、資料もきちんと用意されています。課長の説明も的確で、言い過ぎず、言い足りずと

と驚いていました。川崎城趾や矢板武記念館にも行きましたが、こんな所跡があったことにも驚きました。また、道の駅も良いですね。レストランのシヨウウガ焼きが大好きですが、みそ汁や米がまた美味しい。農産物が豊かであるということですね。

●まじめな市民性

先日、区長公約があったので、後ろに座って見学させて頂きました。実際に良かったと思います。そして驚きました。

まず、市職員の対応が親切で、資料もきちんと用意されています。課長の説明も的確で、言い過ぎず、言い足りずと

という感じ。そして、居眠りしている人がいなかったことです。当たり前のことですが、これはきわめて珍しいことだと思います。



そして、これが矢板市の良いところだと思いました。矢板市民の持っている市民性というか、きわめて真面目という感じがしました。(M.O)

編集後記

軽トラ市は約二万人で賑わいました。八月には、八幡道路での自転車レースや、たかはら山トライアスロンが開催されました。全国から参加・応援に来る大勢の人、矢板の魅力を感じて発信する絶好の機会です。